

最近、身近な人へ感謝の気持ち
を伝えていきますか。

感謝の気持ち。それは、「ありがとう」「サンキュー」「おおきに」「〃〃してもらえて助かった」「あなたののおかげです」……。言葉に表すところのような感じでしょ
うか。

「おおきに」は、私が幼い頃、
祖母が近所の方にいただきものを
した時や、近所の方たちとの話の
中でよく聞きました。しかし、「お
おきに」の言葉は時代の波に飲み
込まれていくように、今ではほと
んど、聞かなくなってしまうし
た。私自身、この言葉を使うこと
はないのですが、「おおきに」の
言葉を聞くとなぜだか心が温かく
なるような気持ちになります。

「ありがとう」の言葉は、家族
には、ちよつと照れくさくて……。
という私は、「〃〃してもらえて助
かった」「〃〃してもらえてよかつ
た」なんて言い方をするところがあ
ります。本当は、素直に相手の顔
を見て笑顔で言えるといいのです
が……。

職場ではどうかと考えてみると、
仕事は、感謝の言葉を求めてして
いるわけではありません。しかし、
「よかつたよ」「助かつたよ」「あ
りがとう」などの言葉をいただけ
ると、自分が認めてもらえている、

「感謝の気持ち」

そんな気持ちになるのです。

仕事に限らず、ちよつとした感
謝の言葉があると、言われた方も
言う方も気持ちが良くなります。
人間関係の潤滑油とでも言うので
しょうか。

相手の厚意に感謝するというこ
とは、相手を価値ある存在、かけ
がえのない存在と認めているのだ
と思うのです。

私が今こうして存在すること、
それは家族・職場・友人・ご近所・
今までの出会いの中の人々などの
存在や支えがあつたからだと思ひ
ます。

忙しくなったり疲れたりしてく
ると、狭い範囲でしか物事を考え
られなくなったり、自分本位の考
え方しかできなくなってきました。
ですから、少しでも周りを見て、
感謝の気持ちを忘れずに、それを
伝えていこうと思うのです。

このシリーズは、あなたとあな
たの周りにいる人の間にあたたか
なつながりが生まれることを願ひ、
人権について考えるきっかけにな
ることを目的としています。

お問い合わせは
人権啓発広報委員会

(880・6569) まで